

凡事徹底

令和8年度 板橋区立板橋第二小学校 学校経営方針

令和8年 4月1日
校長 小澤 裕行

1 学校経営の基本理念

学校は、子供たちの自立を支援するために、必要な技能や知識を学ばせ、集団の中で人間関係の基礎を身に付けさせることが求められています。このことは、単に学習内容を身に付けさせるだけでなく、将来の社会を築く人材の育成を図っていることにつながります。

子供たちは、6歳から12歳までの6年間もの時間を学校で生活します。1日24時間、そのうち睡眠時間や食事の時間などを除いた半分近くの時間を過ごします。子供たちにとって学校はとても大きな存在です。6年間は子供たちの成長に大きな影響を与える時間でもあります。このことを教職員一人一人が強く意識しなければなりません。

そのために、教職員は、保護者、地域、社会の協力を得ながら「確かな学力」「道徳心」「体力」などを身に付けさせ、「知・徳・体」の調和のとれた人間の育成に勤める必要があります。そして本校の教育目標にある「自分でする子ども」「思いやりのある子ども」「じょうぶな子ども」こそが「生きる力」そのものだととらえます。また板橋区立小学校として、「**MIRAI SCOOL いたばし**」の実現こそが、人づくりにもつながります。

教育目標や、MIRAI SCOOL いたばしの**実現を具現化することは**、板橋第二小学校教職員一人一人に**課せられた責任**であるとともに、板橋第二小学校という組織全体に課せられた課題でもあります。一人一人の力では困難なことも組織としてならば解決できる、組織として力を結集した大きな力で解決していくことが重要だと考えます。全教職員が共通理解だけでなく、**共通指導・共通行動**をとっていく必要があると考えます。

いずれにしても、心掛けることは、「**凡事徹底**」です。一人一人がやるべきことを一つ一つしっかりやることに尽きます。

2 板二小が目指す学校像

○子供たち、先生たちが元気な学校

全ての中心は、子供たちです。子供たちが元気でなければ、何の意味もありません。また、それらを導く先生方が元気でなければ、子供たちを元気にすることはできません。教育改革が叫ばれ、制度が変わっても、学習内容が変わっても、**行うのは人間すなわち教師です**。成果はすぐには出ません。また成果を挙げるのに特効薬はありません。一つ一つやるべきことに、きちんと取り組むしかありません。教師も子供も**「凡事徹底」**を図ることが目指す学校像を達成するにつながると考えます。

↓

改めて 板二小が目指す学校とは

【子供から見て】

- ① 受容的、共感的、肯定的な**雰囲気**があふれる学校
- ② 自分の**居場所がある**学校（一人一人が認められているという思いをもてる学校）
- ③ **やればできるという思い**を実感させてくれる学校

【教職員から見て】

- ① いつまでも**勤務していたい**と思う学校
- ② **誇りをもてる**学校
- ③ 各自が**職責を果たす**と共に、必要な場合助けあい、**組織として取り組める**学校

【保護者から見て】

- ① **通わせて良かった**という思いをもてる学校
- ② **学校ならびに教員を支えたい**と思う学校

【地域から見て】

- ① 地域の**自慢できる誇れる**学校
- ② **学校ならびに教員を支えたい**と思う学校

3 板二小が目指す教師像

本校は、ほぼ単学級です。保護者は祖父の代から本校に通っている層と新たにこの地域に住みはじめた層がいます。創立100年を超えた歴史と伝統のある、そして地域の方々の思い入れが強い学校です。いずれにしても共通しているのは、自分の子供を手厚く見守って欲しいという思いです。

また家庭環境が複雑で、保護者自身も悩みを抱え、どうすればよいかわからない、相談する人がいない状況も見られます。このような状況の中、職務の範囲内で親身になって時間をかけ相談に乗ってあげることが子供にとっても良い結果に繋がります。このような状況を鑑みて、板二小で勤務し、板二小の教員である以上、保護者対応は迅速・丁寧に且つ、保護者や児童の実態に応じて、先手先手で対応することが求められます。

- ① 子供の耳に傾け、**子供と良好な人間関係を築ける 児童理解の優れた教師**
- ② 保護者や地域の方々と積極的にコミュニケーションを図り、疑問や相談には**真摯に耳を傾け、初期対応を特に誠実に行う教師**
- ④ 善悪をきちんと指導するとともに、正しくない行いに対しては、**毅然とした態度で 責任をもって、徹底した指導を行う教師**
- ⑤ 課題に対して、**様々な手だてを考え、実行できる教師**
- ⑥ 授業力向上を達成するために、自らの資質向上を目指し、**自分に厳しい教師**
- ⑦ 一人一人の児童の良さを認め、**持ち味を伸ばし育てる教師**
- ⑧ 自己の**職責を自覚し**、きちんと**果たす**ことができる教師
- ⑨ 自分の学級や担当の**ことだけでなく**、他の教職員と協働し、**組織の一員として行動できる教師**

4 板二小が目指す児童像

(学びのエリアで目指す児童像)

「自律」と「自立」

- 自ら考え、挑戦し続ける子
- 自他を尊重し、自ら判断し、責任ある行動のとれる子
- 心と体を大切にし、困難にも立ち向かえる子

👉 学びのエリアでの具体的な取組

- ① 読み解く力の基礎的読解力を基盤とした、選択・決定・調整による深い学びの実装。(板橋区教育委員会 板橋の教育ビジョン研究奨励校)
- ② 一人一台の端末を用いた個別最適な学びの充実と、主体的に学習する力

の育成

- ③ 特別の教科 道徳の共通重点指導（「善悪の判断、自主、自律、自由と責任、親切、思いやり、感謝」）の実施
- ④ 総合的な学習の時間等による 地域・環境に関わる探求学習の推進
- ⑤ 学級活動を通して、学校生活をよりよく改善するために主体的に取り組む力の育成
- ⑥ 不登校支援を目的とした校内居場所の充実

5 学校の教育目標

① 自分でする子ども【自立】【創造】

自分で学ぶ意欲と強い意志をもち、主体的に実践する児童を育成する。

② 思いやりのある子ども【貢献】【共生】

豊かな心をもち、自他の人格を尊重し、人との関わりを大切にする児童を育成する。

③ じょうぶな子ども

☆学力向上 ・ 小中9年間の義務教育をつなぐ「読み解く力」を基盤に、選択・選択・調整による深い学びの実装（板橋区教育委員会研究奨励校）

- 礼儀・規律の徹底
- 家庭・地域との連携
- 一人一人の居場所や活躍の場の提供 ・ 良好な人間関係づくり
- 自治的な活動の充実 ・ 学級活動を中心に据えて
- 教科担任制の導入による各教科の充実（東京都教科担任制加配校）

7 学校の教育目標に関する 目標と具体的な取組

○自分でする子ども……知【自立】【創造】

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・ 学習規律の確立を図る……規律の徹底が学力向上に通じる。
(教師の力量)
 - ・ **読み解く力（読み解く力を育む6つの視点を意識し、教科書を用いて教科書で学ばせる）を基盤として取り組む** 【研究主任】
 - ・ ノート指導（ノートへの記録の徹底から内容の充実へ）の充実

- ・個に応じたきめ細かな指導の実施 ⇒個別最適化
目をよりかけ、手をよりかけなければならない児童への対応
- ・算数少人数加配教員、学力向上専門員、ボランティア等の効果的な活用。
- ・スタディアップタイムの充実 ⇒読み解く力の育成と見える学力、見えにくい学力、見えない学力の向上を念頭に。
- ・放課後学習教室、夏季学習教室の実施 ……宿題忘れをやらせる場でない。ドリル学習は学校でなくてもできる 分からない部分を再度指導（再授業）する場として取り組む。
- ・読書活動の充実 読書を通じて語彙の獲得
- ・書くことの重視 1時間の授業の中で文字を、文章をたくさん書かせる。ふりかえり まとめを毎時間文章で書かせることは必須
低学年のうちに、書くことをたくさん経験させ、書くことが当たり前にさせる。毎時間最低1ページは書かせる。【1, 2年担任】

② 家庭学習の習慣化 【研究主任】

- ・宿題指導の工夫改善（ドリル的学習は、できる限りタブレットパソコンの「すららi」を用いる。
- ・読み解く力に関連する課題を継続的に取り組ませる。
(スタディアップタイムでの「読み解く力」の育成に係わる問題への取り組み)

③ 見えにくい学力・見えない学力の定着向上

【授業に関わる通常級教員】

- ・板橋区（学びのエリア）授業スタンダードSの実践
(なぜ?問いかけ ・振り返り ・学び合いの重視)
 - ・言語活動を重視した授業の実施
(音読させること。特に低中では必須) (たくさん書かせること 習った語彙を書くよう意図的に仕向けること。 全学年必須)
 - ・体験活動を取り入れた授業の実施 (興味関心を高め 意欲をもたせる)
 - ・自分で課題を決め取り組む自主学習の取組推進 (4年生以上の自主学習ノートを使つての取組)
- ⇒家庭学習でも 見えない学力を育むため、自己で選択・決定・調整できる学習の仕方を。
- ・一人一台端末の効果的な活用 (デジタル教科書、電子黒板、実物投影機、など全ての ICT 機器を含む)

- ・ 読み解く力の基礎的読解力を基盤に、自己で選択・決定・調整できる授業等による学力の定着・向上 ⇒ 学びのエリアの取り組み
- ・ 探求的な学習の推進（総合的な学習の時間） ※ 学びのエリア重点
総合的な学習の時間内に地域・環境に関するテーマを設ける。
学びのエリア 具体的な取組 4 参照⇒【3～6年担任】
- ・ 学級や学校における生活づくりへの参画（学級活動）
学びのエリア 具体的な取組 5 参照⇒ 3～6年担任 【特活主任】
- ・ 学校図書館機能の充実 **【図書主任】**
 主体的・対話的で深い学びの実現に向けての活用を
（R2 文科省 総合政策局地域学習推進課発信を参考に）

○思いやりのある子ども……徳 **【貢献】【共生】**

【生活主幹 道徳主任】

共通行動・共通指導

① 挨拶・返事・清掃活動の重視。

- ・ 挨拶は「自分から 気持ちをこめ 誰にでも 欠かさず」

相手の目を見て 聞こえる声で

- ・ 返事は「欠かさず、聞こえる音量で 誰にでも」
- ・ 清掃活動は静かに 隅々まで 心を「こめて」 **迅速に**

いじめは、どんなことがあっても見過ごさない。許さない。

② 心の教育の充実 **【道徳主任】**

- ・ 道徳授業の充実 **特に※学びのエリア 具体的な取組 3 参照**
 （児童の振り返り、道徳ノートへの記入を通して）

・ **人権感覚の醸成**

- （栽培飼育活動を通じて、人権に関する講話『人権担当と連携して』、道徳、いじめ防止月間、いじめアンケート、いじめ防止基本方針）
- ・ **ルールとマナーの遵守の徹底（生活指導の充実）**

③ 人に喜ばれる、人を気持ちよくさせる行動の重視 **【特活主任】**

- ・ 地域清掃、募金活動などへの取組

④ 豊かな人間関係作りの推進

- ・ **異学年交流（たて割班による活動 ……児童集会 遊び 学級会**

清掃 板二まつり等あらゆる場で工夫して) 【特活主任】

- ・良好な学級集団作り (学級経営・専科経営の徹底)
学級経営力とは、学級担任力 毎年受けもった学級が落ちつかない
場合、自身の学級経営力を磨く必要あり。本校は単学級、児童のメン
バーは変わらない。変わったのは担任だけ 極端な話、保護者から見れ
ば 悪くなったのは担任力のせいということになる。
- ・幼保小中との交流活動の実施 (幼稚園、保育所、中学校との交流)

児童理解

- ・Hyper Q-U を活用した居場所・充実感のある学級作り
【生活指導主幹】
- ・特別活動の取組 【特活主任】
(学級活動の時間を大切にし、自分たちの身近なことを自分たちで考える)
(板二まつり、一年生を迎える会、六年生を送る会、各種集会、運動会
音楽会、入学式、卒業式等)
- ・地域人財の活用 (昔遊びや総合学習の郷土愛をはじめとするゲストテ
ィーチャー 1年生下校時付き添いなど) 【全教員】

○じょうぶな子ども……体

体育健康委員会を中心に板橋第二小体力向上推進計画に基づき取り
組む

- ① 教科体育の充実 【体育健康委員会】
 - ・運動の質と量の向上 (教師が各運動の特性をしっかりと理解して指導。意
図的計画的な体育の授業実践)
長寿命化工事を見据えた意図的計画的な 指導時期の変更
 - ・体力調査を踏まえた運動内容の工夫。
- ② 運動の日常化 【全教員】
 - ・休み時間の確保と戸外遊びの奨励。
 - ・行間体育の充実
全校縄跳び月間の設定、体育朝会での全校縄跳びの実施など 全校で
取り組む場の設定。【体育健康委員会】

③ 健康教育の推進 【栄養士 養護教諭 体育健康委員会】

- ・食育の取組
- ・「早寝、早起き、朝ご飯」の徹底

8 目指す学校像・児童像からの具体的な目標と取組

どの子も充実感、帰属感が味わえる学校づくり

① 特別支援教育の充実

【特別支援教育コーディネーター 特別支援教育専門員

STEP UP 教員 +SC 心理士】

- ・特別支援教室の充実、
- ・校内特別支援委員会の充実や推進
(入退級判定準備、行動観察のみで終わるのでなく、発達障害のある児童への指導法などを巡回指導教員と特別支援教育コーディネーターが中心となって提案)

居場所づくり

② 夢や目標や意欲をもたせる指導・支援

- ・キャリア教育の推進 キャリアパスポートの活用

【生活主幹 道徳主任】

③ 達成感や満足感、自己有用感を味わえる場の設定

- ・児童一人一人に様々な役割と活躍の場面を意図的計画的に与える。
⇒小規模校である本校では活躍の場を与えやすい環境にあるはず。

学ぶ環境の整った、美しい学校づくり

① 清掃の行き届いた清潔な環境の整備

(特に教員机周りを 教師自ら模範を)

② 整理・整頓された教材・教具

- ・普通教室だけでなく、特別教室、専科教室、準備室も常にきれいに。

③ 靴のかかどがそろった昇降口、傘がきちんと入れてある昇降口

④ 児童に働きかける教室環境や掲示物の工夫⇒校内掲示計画に沿って

⑤ 板二小の共通理解に基づき、教室内掲示物と掲示場所 (特支の児童

を念頭にした全面掲示板には掲示しない等) の共通行動の徹底

安全・安心で、信頼される学校づくり

- ① 施設・設備・教材の点検と修繕
 - ・安全点検日の設定と実施
 - ・日常の校内巡視
- ② 安全に配慮した教育活動の実施
 - ・綿密な計画のもとの実践
- ③ 防災・防犯・交通安全指導の実施
 - ・防災教室、セーフティー教室、薬物乱用防止教室、不審者対応訓練
 - 情報モラル教室、安全マップ作り等の実施
- ④ 各種マニュアルの整備と改善
 - ・光化学スモッグ対応、高温（気象）対応、欠席時対応、不登校対応
 - アレルギー対応、不審者対応、保護者対応等
- ⑤ 実際に即した（避難）訓練の実施（アレルギー対応研修等も含む）
- ⑥ 個人情報・個人に関する（係わる）情報への意識

危機管理 油断大敵

- ⑦ 電話連絡時、登下校時、保護者会終了後
来校しない保護者へ がポイント

保護者・地域等、外部とのつながり

日頃のコミュニケーション

問題がおきてから、会話をするのではなく、それ以前にこちらから声かけし、会話をすることが重要。教師の積極性が問われる。近隣住民には必ず挨拶を。皆さん見えています。

- ① 参観・懇談会・保護者面談・家庭訪問による相互理解の推進

- ② 教育活動の積極的な公開と発信

- ・ホームページ、
- 学校だより、
- 学年だより、
- ほけんだより等を通じての発信

情報共有は連携の基本。発信しなければそれだけ先入観をもたれる。各種便りも事務的連絡だけで終わらない。

閉ざされた学級にならない。いつでも誰でも授業を見られるように。参観日でなくても保護者に見せられるように。教員同士が気軽に授業を見合える関係で

③ 地域人財の積極的な活用

- ・保護者による支援、ゲストティーチャー、出前授業
- ・iCS 地域コーディネーター（学校支援地域本部）の活用

iCS を活用しないと、学校だけで何でもできると思われてしまう。

④ 学校評価の実施と結果の公表及び学校運営の改善

- ・iCS による学校運営への参画

iCS 委員会への 教員の参加

9 特色ある教育活動の視点からの具体的な目標と取組

SDG`s の項目や ESD の視点を踏まえた環境教育の推進

キーワードは 「体験」

【環境委員長】 ※第2ビオトープの整備の継続と長寿命化工事を迎えて学級花壇（栽培園）の再構築

- ・環境教育年間計画の確かな実践
- ・総合的な学習の時間における「環境」に関する事項の系統性
- ・ビオトープの活用
- ・栽培活動の充実
- ・3R活動の推進
- ・児童のビオトープ管理（児童会 環境委員会 地域人財【外部の力】）
- ・環境教育推進委員会の充実（ユネスコスクール校として）
- ・各教科、総合的な学習の時間、学活、行事における取組
（自然発見カード、1年間の環境教育の取組掲示等）

本校の特色・最重点項目

10 教職員 学校組織に関して
教職員としての資質向上

研修は、随時、必要な時、即実施。実践重視で。研修はしてもらおうのではなく、みんなで学び合う。

① 一人一人を大切にしたい愛情あふれる指導・支援

- ・児童理解、保護者理解、迅速丁寧な支援相談

② 教職員研修による授業力の向上

- ・読み解く力の基礎的読解力を基盤とした児童一人一人が自己で選択・決定・調整による深い学びの実装
- ・どの子もねらいを達成できるような授業の工夫。

「読み解く力」を支える基礎的読解力の6つの分類を意識した教科書を用い、教科書で学ばせる授業の重視。

(校内研では、通常級担当教員は、養護教諭を除き、全教員最低1回公開研究授業を実施)

(STEP UP 教員は年1回 他の教員に見てもらふ機会を設け、授業者参観者が互いに情緒的に課題のある児童の指導に活かす)

週案には必ず上記の基礎的読解力能力の6つの視点を記載。

自己調整型学習に取りくむ際は、それも記載。

- ・ 悉皆研修、自主研修の活用、板橋アカデミアの活用
- ・ 板橋授業スタンダードSの実践

③ 職層や立場・役割を自覚した行動

④ 各自の能力開発

- ・ 自己申告の教職員が身に付けるべき4つの力（「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」）の活用

⑤ 学習指導要領を深く理解し、校内研究を核として、各種のタイムリーな校内研修の実施。 主体的・対話的で深い学びに関する研修 特別支援教育に関する研修等々 その時に応じてタイムリーな研修を

相互に連携・協力して、課題を解決する組織力の向上

① 教職員間の活発なコミュニケーションによる組織の活性化

ここでいうコミュニケーションとは、単なる打ち合わせや連絡ではない。言いにくいことも、言いづらいこともきちんと伝えあうこと。よいおせっかいは行うこと

② 支え合う協働的な関係の構築

支え合う前提として、一人一人が自身の職責を果たした上でのことを忘れない。

報告なのか連絡なのか相談のかをはっきりさせる。
なんのため報告するのか等を、考えて行う。

報告・連絡・相談による課題への迅速な組織的な対応

相談は、自分なりの考えや方策をもって行う。

公務員としての服務規律の徹底

服務事故は、個人の問題だけで済まされない。**学校中に影響が出る。**

自覚 責任感
危機意識

① 服務事故 ゼロ

- ・勤務時間の厳守、体罰の禁止、個人情報管理の徹底、飲酒運転の禁止、わいせつ行為やセクシュアルハラスメントの未然防止、会計事故等々

信頼を築くのは長い時間と多大な労力がかかるが、崩れるときはあっという間。

その場にふさわしい服装にも注意。式には・授業公開では・体育等運動時には……

個人情報の紛失防止の原則5の徹底

- 複数対応 ○名簿でチェック ○枚数確認 ○手渡し
- 鍵+整理整頓

- ・更に個人情報持ち歩き袋の活用
- ・体罰の禁止
- セルフコントロール（深呼吸、その場を離れる、
他の人に一時任せる等）

(4) 各職層が果たすべき内容の熟知と実践

教諭、主任教諭、主幹教諭、副校長、校長、それぞれの役割を尊重するとともにその職責を果たす。必要な場合は、関係者が集まって話し合うようにする。

※教諭 →児童の教育をつかさどる。(学習指導・生活指導・特別活動指導・保護者対応等) 担当した校務分掌に取り組む。

※主任教諭→児童の教育をつかさどる。(学習指導・生活指導・特別活動指導・保護者対応等)

重要な校務分掌の長として校務分掌に取り組む。(学校運営)

教諭への助言や支援を行う。学年主任、専科主任の場合、学年経営、専科経営を行う。

※主幹教諭→児童の教育をつかさどる。(学習指導・生活指導・特別活動指導・保護者対応等)

重要な校務分掌の長として校務分掌に取り組む。(学校運営)

関係分掌間や管理職からの連絡調整、教員の人材育成、教諭・

主任教諭に対する指導監督、副校長の補佐を行う。

学校の中心は子供。子供が学校にいるときは、子供から離れない。

※管理職 →四管理二監督を行う。

※1 学校教育の管理 2 所属職員の管理

3 学校施設の管理 4 学校事務の管理

※1 所属職員の職務上の監督 2 所属職員の身分上の監督

(5) 働き方改革 校務改善の徹底

○必要なものは残し、削減、改善できることは削減・改善する。

1 1 その他

① 柔軟な対応をする。

・一度決めても、状況や変えた方が良くと判断した時には、状況に応じて年度途中でも変えていく。

前例踏襲 (いいんじゃないか このままで)

思考停止 (なにがおかしいんだ。いまのままでいいんじゃない。何も考えずにいつものようにこなしていく)

固定観念 (決まっていること、例年それでやっている。いまのままでいい)

自己制止 (これ以上無理だ。自分は他にもやっている自分には今のままでいい。) **4つの項目のリミッターを外す**

③ 学級担任は、1年間、児童が学校に来るのがいやになるような子を作り出さない。また児童や保護者からの、大きな苦情の原因を作らない

③ 専科教員は、学級担任の力をかりずに学習規律を身に付けさせ、担任の授業より専科の授業が楽しいと思わせる。副担任として自覚をもつ

考えやアイデアは大胆に 固定観念にとらわれず！発想豊かに！！

児童の指導や保護者対応は、差を付け、先手先手、細やかに、丁寧に、綿密に！

本校は小規模校、朝登校時、休み間等 全員で指導に当たるときは指導に。互いに助け合い 教職員みんなで

